



みんなの議会



表紙の写真説明はP15をご覧ください

第 76 号

2025.2.1

今号の Topics

P15-17

P3・18-20

中学生議会 & 議会報告会



誰でも気軽に集える場所に ～カフェすいせん

左端が代表の茂木つる江さん
12月21日太田公民館にて

各地区で開催されている「カフェすいせん」をご存知ですか。認知症サポーターが中心になり、認知症の予防やその家族を支えるためなどを目的に開催されています。今回は太田地区の代表の茂木つる江さんに話を聞きました。

問 いつどこで開催されるのですか。

茂木 太田公民館1階の小会議室で、毎月第4土曜日に開催しています。お年寄りから子どもまで、誰でも気軽に手ぶらで来てもらいたいです。

問 どんなことをしているのですか。

茂木 指の体操や柔軟体操をしたり、楽器を弾くまねをして身体を動かしながら歌ったり、折り紙や牛乳パックを使った工作をしたりします。毎回やっているのは新聞紙を使ったバッグ作りです。手先を使うことはもちろんですが、「どうしてこの新聞を選んだの」と尋ねると、「風景の写真がきれいだったから」「子どもの作文が上手で感心したから」などと話題が広がるんです。新聞を改めて読むことで、考えるきっかけにもなります。月に1回ですが、毎回工夫してみよう人もいれば、やり方を忘れてる人もいます。みんな違ってみんないいの精神で、「できなくてもいいんだよ。誰でも忘れることもあるよ」と声かけをしながら楽しくやっています。

みんなの声を
議会だよりに

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。

gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

問 楽しみながら認知症予防にも役立つ活動のアイデアはどこから得ているのですか。

茂木 研修で教わったわけではなく、幼児番組などを見て自分で考えています。子どもが好きだったり、人を喜ばせることが好きなので、毎回少しずつ趣向を変えています。代表として最初は自分でネタを考えてやっていますが、参加した方がアイデアを出してくれたり、花を持ってきてくれる人もいたり、誰が先生ということではなくみんなで楽しんでやっているから続けられると思います。「誰が生徒か先生か～」っていう歌詞の「めだかの学校」みたいな感じです。

問 このような活動をしている中で議会や町に対するご意見やご要望は。

茂木 議会は格が上という気がして、言っても通らないだろうなと思って特になんですが（笑）、原町の駅前や旧役場跡地は寂しいですね。もっと気軽に人が集える場所が増えればいいです。子どもも少なく、昼間は学校に行っているし、お年寄りは施設にいるし、若い人は働きに行っている。会議や研修で「毎日3人に会って声をかけましょう」と言われるんですが、人に会うのも大変なんですよ。『ここに行けば誰かに会える』という場所がもっと必要だと思います。



初参加者率85%

午前・午後2回開催の昨年と比較し、1回の開催だった今回の議会報告会の参加者は、若干減少となりました。

しかし、初めての参加の方が85%と多く、今年は吾妻中央高校にも協力を呼びかけたこともあり、若い年代の参加者も目立ちました。

アンケートの自由記述では、

・動画での説明は良かったと思います。また、学生が来てくださったのはとても良かったと思います。報告会ごとに「町が良くなっている！」という実感が持てる報告会になるといいなと思っています。

・初めての議会報告会でしたが、大変勉強になりました。

・雰囲気素晴らしかったです。

・高校生の参加はとても良いですね。誘われての参加でしたが来て良かったです。直接町のために意見を交換でき、東吾妻町発展に心が動き身近に感じました。良い町にしたいです。

など、好意的なご意見をいただき、今後の活動の励みとなりました。

議会報告動画配信中

令和6年議会報告の動画は下記の二次元コードからご覧いただけます。

議会報告会にご来場できなかった方もぜひご覧ください。



議会報告会開催

with cafe

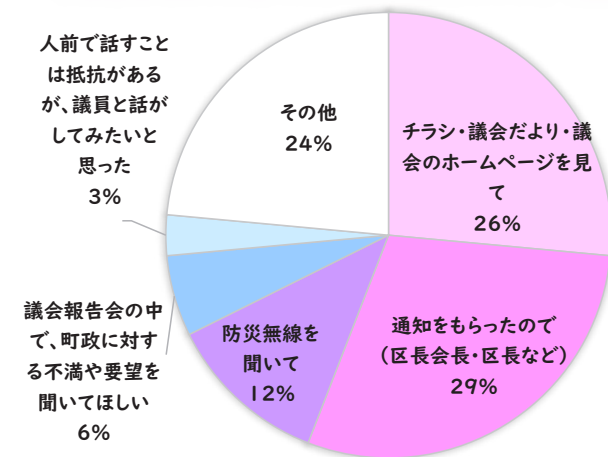
11月10日令和6年議会報告会がコンベンションホールにて開催されました。初めての動画での議会報告を視聴した後、活発な意見ご質問をいただきました。（→詳細は、18ページをご覧ください）

その後は、食生活改善推進協議会の活動の様子を紹介したミニ講話を挟み、「キャベツのキーマカレー」を試食しながら懇談会を行いました。

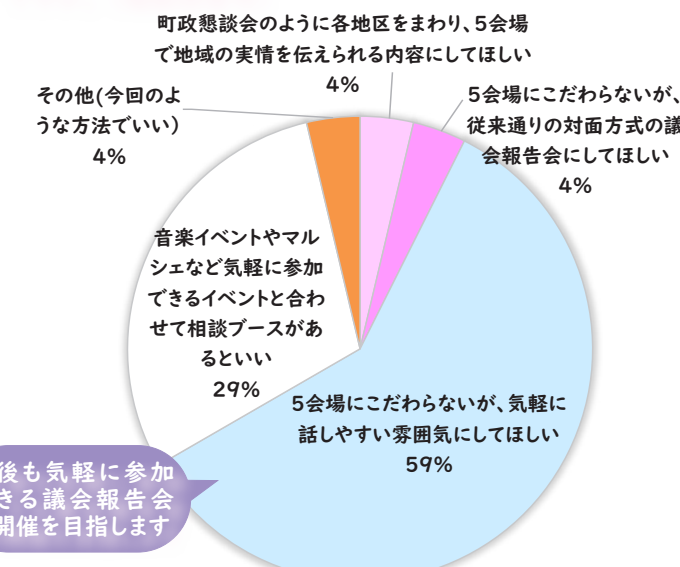


食改推提供の「キャベツのキーマカレー」。減塩食とは思えないおいしさでした。

今回参加しようと思ったきっかけは何ですか。（複数回答可）



今後の議会報告会の開催方法はどんな方法なら参加しやすいですか。（複数回答可）



今後も気軽に参加できる議会報告会の開催を目指します

職員の不祥事

町の責任 厳しく追求!



令和6年第4回定例会が、12月4日から13日までの10日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された専決処分を含む補正予算や条例改正などの議案が審議され、いずれも原案どおり承認・可決されました。

町政一般質問には6人が登壇し町政をたしました（8ページをご覧ください）。

町長・副町長 3カ月間10%減給

議員・特別職・職員の期末手当等を改定

人事院勧告に準拠した初任給や若年層職員の給与月額引き上げ、議員・特別職の期末手当、職員の勤勉手当の年間0.1月分増額等の関係条例5件が一括提案されました。

また、職員の不祥事を受け、行政執行責任者である町長・副町長の責任を明確にするため、3カ月間10%の減給が提案され可決しました。

質疑

小林光一議員 町職員の公金横領の発生により、町長と副町長が責任を取り、減給の提案がなされたが、この事案発覚の経緯の説明を。

総務課長 令和6年6月から8月までの期間に、地域振興施設の使用料収入等、約847万円を町の会計に引き継がず、私的に流用したものの。9月4日売上金の一部しか収入処理されていないことが発覚。9月9日に職員本人が横領の事実を認め、9月13日に全額の返済が完了した。今後は全職員に対し公務員としての倫理の確立、服務規律の遵守と綱紀粛正の徹底を図る。また、公金の取り扱いについては現金や書類等のチェック体制の適正化を図り、再発防止策を徹底する。

小林光一議員 職員への処分は。

総務課長 10月29日懲戒審査委員会を開催。10月30日付で職員を懲戒免職処分とした。担当課長、次長は文書訓告処分とした。

小林光一議員 再発防止のためにはダブルチェック以外に、多額なお金を扱う部署や重要な案件は課内会議などで取り上げ、チェックをすることで、さらに再発防止につながるのでは。

町長 今回の職員の不祥事は、公務員にとって恥ずべき行為であり、あってはならないことだ。こ

れからのチェック体制等をしっかりと行い、職員の公務員としての心構えをもう1回しっかり持つよう指導を行っていきたい。

竹淵博行議員 11月の議員全員協議会開会前に副町長より氏名の公表はしないと説明された。町にも当然懲戒処分の条例があり、運用には要綱的なものを定めなくてはならない。10月25日に訓令を出しているが、この訓令の解釈は。

総務課長 組織内部において、上の者から組織全体にわたっての指示、命令事項と考える。

竹淵博行議員 この訓令に、われわれ議会も準ずる必要があるのか。

総務課長 組織内部のもので議員が従う義務はないが、町も公表基準を設けて対応するので、尊重していただきたいと申し上げた。

竹淵博行議員 町の訓令は、原則として名前は公表しないとあり、「任命権者は、公表内容の社会的影響、被処分者の職責等を勘案して、必要と認めるときは所属名及び氏名についても公表するものとする」となっている。悪いことをすれば原則公表し、「被処分者の職責等を勘案して」公表しないことができるなら理解できる。この訓令は精査が足りないのではないか。

副町長 人事院の懲戒処分の公表指針は「当該事案の社会的影響、被処分者の職責等を勘案して」例外とする場合もあるが、「個人が識別されない内容のものをすることを基本として公表する」のが原則であり、人権擁護の観点も考慮し公表しなかった。

総務課長 調べた60自治体ほどのうち、87%の自治体では、原則として氏名は公表しない。「社会的影響等勘案して」とは、具体的には刑事事件に発展している場合や警察等機関により新聞等でもう既に氏名が公表されているような場合が該当すると考える。

反対討論 ～議員の期末手当引き上げに反対

高橋徳樹議員 住民生活面では食料品をはじめさまざまな物価高騰や公共料金値上げ、税負担増などの影響もあり、多くの方の生活は依然として厳しい状況と考える。

産業振興の柱である農林業情勢も価格低迷や生産資材、電気、ガス、ガソリン等エネルギーの高騰で厳しさが続き、経営が成り立たないとの見通しから離農を考えているとの情報も聞こえている。中小企業景気概況は、コロナ感染影響での資金繰りの対応もあり、都市部の景気回復が地方に波及するまでには、まだ時間が必要と捉えている。

来年度予算編成も普通交付税の1億円以上の減少、財政調整基金の取り崩しなどの収入減の見込みで、支出は高齢医療、老朽化施設整備、地域防災関連対策費などの地域課題の解決のための支出増が予想される中、本議案は住民の方の理解が得られるものではなく、むしろ議員自らが住民の声を代弁し将来世代への責任を果たすこと、つまり公共利益のために尽くしていこうという考えが肝要と考える。

追認議案

とは……議会の議決を得ずに財産を取得したなどの行為を承認する議案。議会の議決を要する案件は以下の通り。

＜財産の取得又は処分＞

- ・ 予定価格5000万円以上の工事・製造の請負契約
- ・ 予定価格700万円以上の不動産・動産の購入、売払い（土地1件5000㎡以上）。信託の受益権の購入、売払い

追認議案の是非

小学校教師用指導書・教材購入ほか2件

契約金額 1911万円
契約方法 随意契約
契約の相手方 （有）川村書店
代表取締役 川村厚夫（原町）

内容：議会の議決を経ずに、小学校教師用指導書等を購入する事案が全国的に報道されたことを受け、平成26年度以降の契約手続きを対象に、全庁的な調査を実施したところ、議決行為がなされていない事案（令和6年度1件、令和2年度2件）が確認され、追認議案が3件一括で提案され可決されました。

質疑

竹淵博行議員 今回の契約は無理がある究極な手法と言わざるを得ない。本来は「ゼロ町債」、つまり現年度分の支払いがゼロで債務負担行為を設定し、入札や契約をした後、翌年度4月1日から着手するというのが望ましいのではないか。

学校教育課長 本来であれば、必要な年度の前年度に予算を確保した上で仮契約し、物品購入契約の締結の後に、翌年度の当初が履行期限なので、繰越明許の追加という形が理想だと考える。

竹淵博行議員 文部科学大臣の検定を経た教員用教科書および教材、いわゆる検定済み教科書は非課税であるが、今回の契約に非課税のものは含まれているか。

学校教育課長 本契約は教師用指導書および教材であり、非課税のものは含まれていない。

 異議あり	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
					佐藤聡一	齋藤貴史	増子京子	渡一美	井上日出来	高橋弘	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	11	9	1	可	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	11	9	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11	10	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	11	10	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11	10	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結（令和6年度小学校教師用指導書・教材購入）	11	9	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
物品購入契約の締結（令和2年度小学校教師用指導書購入）	11	9	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
物品購入契約の締結（令和2年度小学校指導用教材備品購入）	11	9	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席

議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

令和6年度補正予算

専決1件・議案5件
全会一致で承認・可決

一般会計補正予算(第4号)

は、歳入歳出それぞれ1213万円を追加し、総額を91億2786万円としました。衆議院議員総選挙で緊急を要した経費の専決処分を承認しました。

一般会計補正予算(第5号)

は、歳入歳出それぞれ1億8727万円を追加し、総額を93億1513万円としました。職員の給与に関する条例等の改正に伴う人件費補正のほか、自転車型トロコ施設落石防止対策工事、新型

会計名	補正額	予算総額
一般会計(第4号)	1213万円	91億2786万円
一般会計(第5号)	1億8727万円	93億1513万円
国民健康保険特別会計(施設)	97万円	5850万円
地域開発事業特別会計	104万円	981万円

コロナワクチン定期接種委託料の追加などが主な内容です。

下水道事業会計補正予算(第2号)は、資本的収支予算から収益的収支予算の組み替えをするもの。また、浄化槽長寿命化事業に伴う県

費補助金の追加補正です。
水道事業会計補正予算(第2号)は、水道会計予算資本的収入に、上信自動車道建設に伴う水道移設補償費の減耗控除に対する不足分2000万円を一般会計より繰り入れするものです。

その他の条例改正

条例4件、その他1件
発委1件 全会一致で可決

東吾妻町水道事業給水条例の一部を改正する条例 →水道事業で徴収する手数料を実情に合わせて改正するもの。
東吾妻町立小中学校児童生徒等表彰基金条例 →児童生徒の優秀成績や模範行為を表彰するための財源をより効果的に活用できるよう、基金を創設するもの。
東吾妻町育英条例の一部を改正する条例 →利用状況が縮小傾向のため、育英資金貸付基金の現金をより効率的に運用できるよう、基金規模を8000万円から7000万円に変更するもの。
東吾妻町特別支援学校児童生徒就学援助条例の一部を改正する条例 →就学援助金支給の基準日を設定し、年度途中の支給対象の取り扱いを明確化するもの。

意見書提出!医療・介護施設へ支援を

発委第1号として提案された「ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書」が、全会一致で可決され、国会および関係行政庁へ提出しました。



今回の請願・陳情

遊花里自然園の来場者で
通行量の増えた長寿園線

請願	採択	町道長寿園線に関する請願	関谷区長 佐々木 健一 紹介議員 井上日出来	総務建設 常任委員会
陳情	採択	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	文教厚生 常任委員会

リース車両の事故による損害賠償

●損害賠償の額を定めること

損害賠償の額 33万円
賠償の相手方 (株)渡重機工業
代表取締役 渡 茂(矢倉)

内容：職員が運転するリース車両での単独事故が発生しました。リース車両は自動車共済に加入していましたが、車両補償は対象外のため、リース契約約款に基づき損害賠償責任が生じました。損害賠償の額を定めることは、議会の議決を要するので、本会議で可決されました。

*渡一美議員は除斥の対象のため退席しました。
除斥とは、審議の公正を期すために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、審議に加わることができないとする制度です。

質疑

竹淵博行議員 公用車の車両保険加入は。
総務課長 公用車は全て町村会の自動車共済の車両保険に入っている。今回のリース車両は地域おこし協力隊の活動と通勤に使用するため、町村会には加入できず、JA共済に加入していたが、車両保険には加入していなかった。
竹淵博行議員 車両保険に入らない理由は。リスクがあれば入るべきではないか。
総務課長 残存価額と保険料やリスク割合を勘案した中で公費負担を少なくすることも踏まえて総合的に判断した。今後はリスクに対応できるよう検討していきたい。

議員力アップへ

～郡・県議員研修会

吾妻郡町村議会議員研修会

10月18日長野原町住民総合センターにて、吾妻郡町村議会議員研修会が開催され、群馬県知事 山本一太氏による「新・群馬県総合計画～2040年に向けた政策の方向性～」と題した講演を聴きました。



県政策の方向性を語る山本一太知事

群馬県町村議会議員研修会

11月5日玉村町文化センターにて開催の群馬県町村議会議員研修会に参加し、早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村健氏の「住民に期待される議会になろう～議会力によって地域の未来が変わる～」と、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋一氏の「町村の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」の講演を聴きました。



玉村町文化センターでの研修



一般質問は
こちらから

町政を問う！

今定例会では6名が登壇しました。

- P 9 高橋 弘 議員「健康寿命延伸対策は」
P 10 増子 京子 議員「お悔やみハンドブックの配布を」
P 11 高橋 徳樹 議員「地域防災力向上に専門家の登用を」
P 12 齋藤 貴史 議員「中学生が提言 観光振興を問う」
P 13 井上日出来 議員「令和7年度予算編成方針を問う」
P 14 重野 能之 議員「施策のさらなるPRを」

一般質問とは

定例会において議員が行政全般にわたり町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告・説明を求めることです。
一般質問は通告書に基づいて行われます。

定例会・臨時会の会議録は、東吾妻町議会のホームページでもご覧いただけます。一般質問等の質疑応答は編集してあります。
本会議中の正確なやり取りについては、東吾妻町議会ホームページの会議録（3月中旬に掲載予定）をご覧ください。



12月定例会で処理経過が報告されました。処理中は着手し進行中のもの、未決はどのような方法で行うか決定されていないものです。

あの請願・陳情はどうなった？

No.	請願・陳情名	採択議会	担当課	処理状況
1	安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月第4回定例会	まちづくり推進課	処理中
2	町道5085号線（原町上野・在下地内）拡幅改良工事に関する陳情書	平成27年12月第4回定例会	建設課	処理中
3	上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月第4回定例会	建設課	未決
4	町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月第3回定例会	建設課	未決
5	日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年9月第3回定例会	建設課	処理中
6	東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年9月第3回定例会	学校教育課	処理中
7	町道5242号線（郷原古谷地内）改良の請願	令和2年6月第2回定例会	建設課	処理中
8	河川からの越水被害に関する陳情（川戸上之宮地内）	令和2年12月第4回定例会	建設課	処理中
9	上之町区内の道路を拡幅して頂きたい請願（群馬原町駅から中央公民館付近）	令和6年9月第3回定例会	建設課	未決

Question

健康寿命延伸対策は

Answer

生活習慣病予防や健康づくり推進に取り組む



たかはし ひろし
高橋 弘 議員

世界的な長寿国であり「人生100年時代」ともいわれる現代日本では、健康寿命をいかに延ばすかが大きな課題とされている。

健康寿命とは…健康上の問題によって日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

問 健康寿命を延ばすために具体的にどのような取り組みをしているのか。

町長 高齢化とともに、ガンや循環器病などが増加しているため、生活習慣病の発症予防や重症化予防、社会生活を営むための必要な機能維持や向上を実現する取り組みを行っている。

問 保健センターと連携した対策は。

町長 無料受診の設定や受診の再勧奨を積極的に行い受診率向上に努めている。また、食生活改善推進員による減塩や野菜摂取の増加など食育活動も推進している。

問 健康増進センターの機能強化と健康づくりの充実については。

町長 現在健康増進セン

ター主催のノルディックウォーキングに加え、暮らし方やライフステージに応じたスポーツに触れる機会を増やしていく。また、群馬県公式アプリ「G-WALK+」を活用し町民向けに歩数に応じたポイント付与などを検討したい。

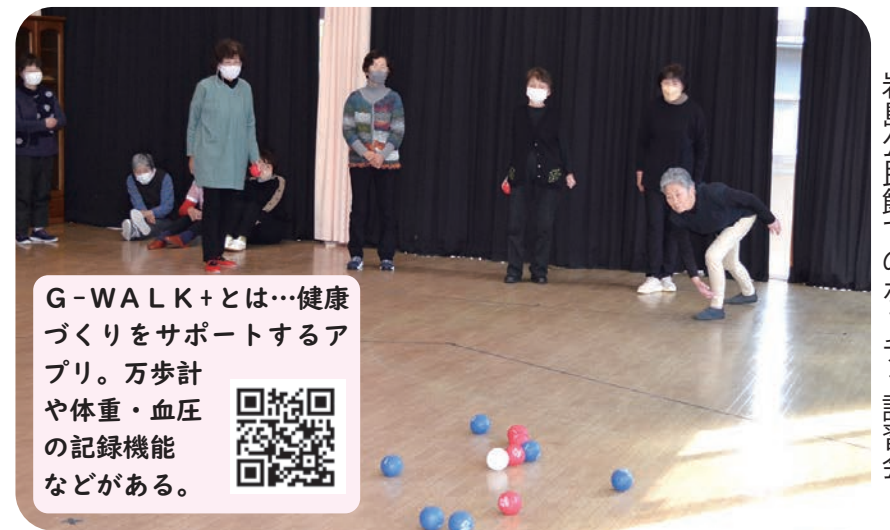
問 公民館を利用した軽スポーツや体操等の講習会もあると思うが。

町長 岩島公民館でボッチャ講習会を開催し好評だった。今後は「ピラティス」や「座って筋トレ等」の運動教室等を開催し気軽にできる軽スポーツや体操を行っていききたい。

相続登記の義務化対策

問 令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化された。「所有者不明土地」により周辺の環境悪化や民間取引・公共事業の阻害が生ずるなど社会問題になっている。当町の対策は。

町長 固定資産税納税通知書を送付した際に相続登記義務化スタートのリーフレットを全ての納税義務者宛の封筒に同封している。相続登記が義務化されたことを理解いただけるよう対応していく。



G-WALK+とは…健康づくりをサポートするアプリ。万歩計や体重・血圧の記録機能などがある。



岩島公民館でのボッチャ講習会

まし こきょうこ
増子京子議員

Question

お悔やみハンドブックの配布を

Answer

遺族の役に立つよう見直しを検討

問 「お悔やみハンドブック」という家族が亡くなってから行う手続きが、分かりやすく説明されている小冊子があるようだが、わが町でもこのような「お悔やみハンドブック」を配布するようにしてはいかがか。



町長 わが町では、死亡届を出された後の更新や手続きを行っていただくために町のホームページでもご案内させていただいている。お悔やみハンドブックは少しでも分かりやすくご案内するためにも有効な手段であると考えている。お悔やみハンドブックの無料配布は難しいため今後、ホームページの内

容の見直しも含めてご遺族のお役に立てるよう検討してまいりたい。

中央公民館に交流スペースを

問 現在、耐震改修工事中の中央公民館だがリニューアル後には、今まで以上に町民の皆さんの居場所としてご利用いただきたい。例えば子ども連れの方の利用や、暑い日などは高齢者の方々が熱中症対策で涼しい館内で会話をしたり、学生さんが読書や勉強をする場所としてなど。館内は、ルールを守りながら気軽にご利用いただける公共空間（パブリックス

ペース）として活用いただきたい。

町長 耐震工事前でも玄関ロビーは椅子やテーブルもあり新聞を読んだり親子で絵本を読んでいる姿もあった。工事後もこのような空間に加え、学習スペースを設置していき、気軽に立ち寄れる空間としていきたい。

問 最初が肝心なので中央公民館のリニューアルを皆さんに周知していただけるようしっかりとしたアピールをお願いしたい。

町長 より多くの町民にお越しいただけるよう広報やホームページでアピールしていく。



耐震改修工事中の中央公民館

Question

地域防災力向上に
専門家の登用を

Answer

防災専門家による研修機会を
提供したい

当町に気象防災アドバイザーを

問 最近、各地で自然災害や異常気象などで被害が頻発しており、地域防災体制の整備が急務である。当町でのリスクや気候変動の影響を反映させたより実効性の高い住民啓蒙や行動を促す冊子作成や配布状況を伺う。

町長 令和5年5月に土砂災害警戒区域や避難所、マイタイムラインなどを掲載した防災ハザードマップを全戸配布。また、地区自主避難計画の作成とそのリーフレット配布にも取り組んでいる。

問 渋川市で活躍する気象

台OBの気象防災アドバイザーのヒアリングでは4カ年計画で105全地区の市民への防災強化の啓蒙、地区ごとに沿った個別防災組織づくり等を進め今年度終了という。自然災害の頻度、規模が増大する今日において有意義な外部専門家の活用であり、当町も検討されてはどうか。

町長 気象防災アドバイザーのような活用は地域防災向上に大変有意義であると認識。一方で人材雇用に伴う財源や条件面の調整などの課題もある。今後は関係機関の協力を得て職員や住民皆さんへ防災意識の日頃の



川戸田中区の炊き出し訓練

備えや重要性を学ぶ研修機会を提供していきたい。

農作業受託事業補助を新設

問 農業従事者の高齢化や後継者不足など取り巻く情勢は厳しさがある。現状認識および支援策は。

町長 同様の認識である。まずは地域農業の継承と活性化の担い手である認定農業者育成や、新規就農者支援が重要。支援策は農業機械導入事業および受入農家での農作業体験、農林大学校での講座受講など実施。また、今年度より農作業受託事業補助を新設。営農で負担となる作業の田植え、稲刈り等を農業担い手へ作業委託することにより、委託者の営農の継続が促されるものと考えている。

問 農地効率化を図る「地域計画」進捗状況を伺う。

町長 認定農業者から意見聴取を行っており、目標地図が含まれる地域計画は3月末に策定される見込みである。

たか はし のり き
高橋徳樹議員

さいとう たかし
齋藤貴史議員

Question

中学生が提言 観光振興を問う

Answer

目指すは
「必ず立ち寄りたい観光地」

11月に開催された中学生議会（P16参照）での提言をつなぐ。3割の生徒が観光振興を希望していた。移住者・定住者が増えるのでは、転出者が食い止められるのでは、とする提言も。「町が抱える最大の課題」への打開策を考えていた。

観光が町に「光」を

問 町は年間を通じて多くの観光客が「通過」しているが、これを取り込むことが未来を左右する。観光を核にした地域振興の計画・戦略は。

町長 町の魅力的な観光資源を活用し、周遊ルートの構築を図り、「必ず立ち寄りたい観光地」づくりに取り組む。

問 インバウンド観光事業者と意見交換を行うと、町には外国人が望む観光資源があり、注目されている。積極的なプロモーションで中学生が望む未来へアプローチできる。今後の計画は。

町長 岩櫃城跡をはじめとする歴史文化遺産と、吾妻真田忍者を核とした観光コン

テンツの整備を進めている。今年9月に国際忍者学会大会を誘致。観光協会は観光庁特別体験事業に取り組む。道の駅では、吾妻真田忍者体験やテレビアニメ「NARUTO」オリジナルグッズの販売も。コンテンツを充実させ、効果的なプロモーションにつなげる。令和7年度の大阪・関西万博で、町のPRを考える。

森林資源活用と移住定住

問 中学生からは町の森林資源活用を望む声も大きかった。平沢地区には未利用の町有林があるが、活用は考

えるか。

町長 広葉樹林が自然環境をそのままに保全されている。環境保全しながら有効に活用できる方策を検討していきたい。

問 観光振興から移住定住者への効果があるという声があった。移住定住問題はどのような方針で進めていくのか。

町長 東吾妻MTBライドへの参加をきっかけとした移住の事例もある。町の魅力を知ってもらうことで移住定住へのきっかけづくりにつなげることは、非常に有効な手段であると考えてる。



第7回国際忍者学会での講師・玉田玉秀齋さんの基調講演。東吾妻町の歴史資源の素晴らしさを強調した。(コンベンションホール)

Question

令和7年度予算編成方針を問う

Answer

地域医療と社会基盤を重点に

いのうえ ひでき
井上日出来議員

問 令和7年度予算の最重要課題は。

町長 「地域医療の確保」や「社会基盤整備」が町民のニーズとして挙げられており、その実現に向けて進めたい。

問 次年度予算の人材育成に関する事業は。

町長 防災士資格取得補助や消防団員への準中型免許取得補助、またDX、法制執務、コンプライアンスなど、職員研修にも注力している。

問 EBPM（根拠に基づいた政策立案）への取り組み状況は。

町長 町民ニーズの調査などの他、予算編成前に実施される「事務事業評価委員会」や「ひがしあがつま創生会議」での根拠を基に進めている。

問 上信道完成予定が2年延長されたことによるバスターミナル計画の事業予算増大が懸念されるが。

町長 無駄が出ないよう目的に合った予算編成をしていく。

問 東吾妻町デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）のスケジュールと町民ニーズの調査方法は。

町長 令和7年3月完成を予定している。今後、ひがしあがつま創生会議とパブリックコメントで意見を募集する。

自治会の高齢化対策

問 自治会の高齢化が進み、地域活動にも支障が生じている。組織改革への支援や負担軽減策への取り組みは。



建設中の上信自動車道（厚田）

町長 これまで文書配布方法の変更など負担軽減に努めてきた。今後、町のDX化推進の一環として、高齢者への配慮をしつつ、回覧文書のデジタル化も検討している。

個別避難計画作成の取り組み状況

問 令和3年、災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者の個別避難計画作成が町の努力義務となった。現在の取り組み状況は。

町長 12月2日時点で対象者は98名、そのうち45名の計画が今年度末までに完成する見込みである。

町内防災士のネットワークづくりを

問 町内で防災士資格取得者が増えてきた。ネットワークをつくり、各地区の地域防災組織を支援するチームを編成してはどうか。

町長 防災士同士が連携できる場や組織づくりを前向きに検討したい。

一般質問

しげのよしゆき
重野能之議員

Question

施策のさらなるPRを

Answer

先進自治体を参考に積極的に進める

問 合併から18年。茂木前町長から中澤町長と2代にわたる市政で多くの施策が展開され、当町の基盤が築かれてきた。両町長また職員の方々の功績は大きい。町長が日頃心掛けてきたことは何か。

町長 就任以来、住民の皆さんの声を大切にし、それを政策に反映させることを最も重要な姿勢として取り組んできた。毎年開催している市政懇談会などをはじめ、意見交換の機会を設け、地域ニーズの把握に努めてきている。

問 町の貯蓄ともいえる財政調整基金も、この18年で約37億円増えており合併時から10倍だ。このことは、今後訪れるかもしれないさらなる行政の広域化などに大きな糧ともなる。今後の基本方針は。

町長 町の最上位計画である「東吾妻町第2次総合計画」を着実に進めることが重要と考えている。しかし市政運営は、私一人でできるものではない。職員と力を合わせ、住民の皆さんと意見を共有

しながら共に考え、行動する姿勢を大切にしていきたい。

施策の展開とPR

問 より良い施策をつくりそれを展開していくには「人と人」という部分も大事だ。まずは職員の方々の安全と安心が確保され、委縮することなく職務を果たせる職場環境が必要だ。町長にはそのための万全の体制を築いていただきたいと考えるが。

町長 さまざまな対策を考えており、効果を発揮するものと思う。最近では、若手職員も駅伝大会で好成績を収

めるなど活発に活動している。今後も職員や町民の方々が明るく元気になる町をつくっていききたい。

問 町民支援の各施策は「誰ひとり取り残さない町」の実現に向け高い評価がなされる価値あるものだ。そしてそれを示す「生涯支援年表」「子育てガイドブック」がある。施策のさらなるPRを。

町長 今後、情報提供のデジタル化も進めていく考えだ。また、他自治体の先進的な取り組みも参考にして、町内外へのPRを積極的に展開していく。

生涯支援年表と子育てガイドブック



中学生議会&議会報告会

in 東吾妻中学校



11月21日木曜日、東吾妻中学校にて、中学生議会と議会報告会を同時開催しました。議員が中学校へ出向いて、3年生全員と交流を深めたのは昨年に引き続き2回目です。若い感性に刺激を受けるとともに、中学生に町議会を身近に感じてもらうとてもよい機会となりました。



～開式行事①

3年生全員が音楽室に集合し、佐藤議長や荒木校長先生の挨拶の後、議員11名が自己紹介を行いました。中学生は少し緊張した面持ちでした。

～卒業研究中間発表②③④

議員1人に6～8名の班に分かれ中学生議会を開催。卒業研究「20年後の東吾妻町に暮らす人々のための町づくり」をテーマに中間発表を行いました。**(中学生からの提言は次ページ)**

20年後に暮らす人々のために今何をすべきなのか、中学生が自分の考えを発表し、議員が感想やアドバイスを述べました。

～クラスごとの議会報告会⑤⑥⑦

後半は、クラスに分かれて議会報告会を開催。事前学習として議会報告の動画を視聴した生徒からは、「旧役場跡地にはどのくらいの予算が取られていますか」「議会だよりの編集はどのようにしていますか」「中学校の校庭の土の入れ替えがなかなかできないのはなぜですか」

などの活発な質問があり、議員が回答しました。

今回いただいた中学生からの意見は、委員会などで協議し町へもつないでいきます。



中学生議会 卒業研究中間発表



豊かな自然を観光資源に

- ★岩櫃山周辺や箱島湧水などの自然豊かな森林を生かしてフォレストアドベンチャーを造る。
- ★岩櫃山周辺に忍者村を造り忍者の町をアピールする。
- ★キャンプ場やバンジージャンプ、アスレチックコースなどを設置し、自然を生かした取り組みで知名度をアップさせる。
- ★吾妻渓谷や親水公園の水仙などに観光客を増やすために、周遊バスなどで観光ツアーを開催する。

SNSで発信などPRの強化を

- ★町公式SNSを作成し、町出身の芸能人に動画で出演してもらい、魅力を発信する。
- ★水仙ちゃんの知名度を上げるために、水仙ちゃんパークを造り、公式サイトを立ち上げる。
- ★町の魅力を知ってもらうために、歴史を使ったまちづくりを。積極的に動画を作り、有名人が聖地巡礼することで、その人のファンにも来てもらえるようにする。

イベントで町を盛り上げたい

- ★ふるさと花火を伝統として続けていくために、会場整備のボランティア活動・資金集めなどの町民の支援やSNSを通じた発信を行う。
- ★富山県上市町で開催されたポーカートーナメント（大会の参加券をふるさと納税の返礼品とした）のようなイベントを開催することで地域活性化を計る。



町に届け！

「20年後の東吾妻町に



観光で 活力ある町へ

最も多かったものは、観光に力を入れて町を元気にしたいという意見。たくさんの方が東吾妻町を訪れ、活気のある町になって欲しい。そして、ここに移り住む人がもっと増えたらうれしい。そのために、今何をすべきか。

活気ある町のために考えた意見は、自然や農業など町のいいところを理解し、未来につなげるためのアイデアが多く見られました。



農業で活性化

- ★次世代の農業を担う人材育成のために、小中学生を対象とした農業体験や農家志望者への支援を行う。
- ★環境にもいい田んぼアートで観光客を増やし、地域を活性化させる。地域の学校の田植え体験などにも。
- ★今ある道の駅の利用者を増やすために、野菜や果物などの特産物をたくさん作り宣伝する。
- ★町ならではの特産品を使った料理を作り、地域の魅力を知ってもらう。

未来への提言

暮らす人々のための町づくり」



子育て支援充実の町

- ★豊かな自然（水仙や箱島湧水、吾妻渓谷など）、現在行っている子育て支援（高校生医療費無料など）をPRし、暮らしやすさをアピールする。
- ★公園の充実など子どもが暮らしやすい町だけでなく、買い物の便利さや通学路の安全など親が住みたいと思う町にする。



高齢者に優しい町

- ★高齢者向けのイベント（ハイキングやクイズ大会）を開催し、足腰の強化、認知症予防を。
- ★老人ホームや訪問介護など介護支援を充実させる。
- ★体育施設を充実させ、ウォーキングやスポーツ教室を実施し、健康づくりを目指す町にする。
- ★世代間交流を活性化させるために総合福祉センターを設置し、誰でも立ち寄れる居場所を作る。
- ★高齢者の自動車事故防止にサポートカーの補助や交通安全講話を開き、安心して運転できる町にする。
- ★公共交通を充実させ、電車やバスの本数を増やす。



誰もが暮らし やすい町へ

中学生の意見はバラエティに富んださまざまなものがあつたけれど、その思いの根底にあるのは、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが暮らしやすい町であってほしいとの願い。ここで生きる全ての人のために。

暮らしやすい町のために考えた意見は、自分たちの年代だけでなく、他者に対する優しい思いやりの心が感じられました。



多文化共生 外国人も住みやすい町

- ★町と基隆（台湾）が融合した夜市を開催し、交流強化と観光客の増加を目指す。
- ★学生だけでなく高齢者なども気軽に多様な言語を学べる機会をつくる。
- ★20年後には多様な国の人々が定住・交流していると考え、インターネットでの情報発信や言語学習の機会をつくる。
- ★グローバル化が進む中で、語学力が高い町にするために、ALTのさらなる活用を促し、海外との交流の機会をつくる。

空き店舗を活用し活性化

- ★旧役場跡地に地域住民の憩いの場となるようなカフェスペースを作る。
- ★群馬原町駅前の空き店舗で町の名物や土産を売るようにする。

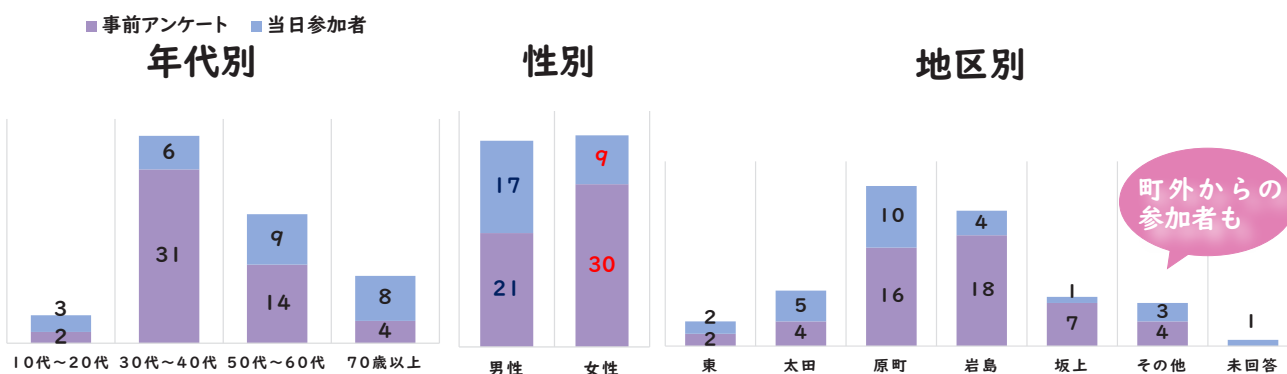


まちの声 議会とともに

皆さんからいただいたご意見を紹介します！

当日来場者＆事前アンケート回答者の内訳と傾向

スマートフォンで気軽にできる事前アンケートでは、今まで議会報告会の参加の少なかった30～40代の女性からの回答が多くいただきました。議会報告会の会場が1カ所だったこともあり、地区別での偏りがあったことは今後も課題です。



子育て支援充実でもPR不足？

●教育の充実化。教育費や給食費の無料化はもちろん出産祝い金など金銭面では十分な援助を町から受けていますがどうしても知名度がありません。生活していく上で育児の魅力はやはり養育費免除が1番ですが、子どもが立派な人間に成長してほしいのが親の思いです。子どもの成長に1番必要なのは自分で考え行動する「人間力」です。そして、人間力を身に付けるには自然体験だと教わりました。東吾妻町は自然に恵まれた町です。町内の学校と協力して自然に触れる活動を強化すべきだと思います。

●子育て支援が充実していることを議会報告会で初めて知りました。町民に対してもっと



こども園楽しいね～あづまこども園

このことを周知し、自分たちの子どもや孫にこの町に住むとこんないいことがあるんだよと伝えられるといいのではないのでしょうか。

●子育て中なので支援が充実していることは知っていますが、他の自治体と比較してこれだけ支援が充実しているという具体的な周知が必要ではないのでしょうか。

旧役場跡地の活性化を

●役場跡地の利用を充実化させましょう。トライアルサウンディングによりイベントなどが集まれる場所として利用していましたが、天候の影響に左右されやすいので屋根を付けたり、地面を車椅子でも通れるくらいの舗装をすれば良いと思います。また、ある団体が資源を回収しそれをイベント運営資金に変える運動をしていますが、負担が大きいという声があります。町の発信で、盛り上げたい有志を募っても良いと思います。



上信道で町の未来は？

●上信自動車道（吾妻西バイパス）が開通し交通の利便性が向上しました。令和11年度に吾妻東バイパスが開通すればさらに移動環境は向上すると思います。その反面、騒音と景観の環境は悪化すると考えられます。

吾妻西バイパス、吾妻東バイパスは住宅地に沿って建設されております。自然豊かな東吾妻町なのに住宅周辺のみ車の走行音が目立つ状況にあります。防音林など景観に配慮した上信自動車道の防音対策を望みます。

デマンドバス利用促進を

●坂上のデマンドバスに、道の駅あがつま峡を加えてほしいです。さかうえ拠点バス停に建物を建てることを20年30年後のことを考えて保留にしてほしいです。坂上と町全体ともっと意見を出して希望を持てる案を考えたいと思います。

●バスが坂上の奥の方など停留所が増えて近所の方もほっとしていました。ただ、バスの利用の仕方を知らない方が多いかもしれません。毎月回覧板などで周知するのではないかと思います。



少子化対策取り組みは？

●少子化で子どもの数が少ないのは仕方ないですが、町としての独自性がないと、都心部への流出は止まらず、長期的に人口も減るのは必然だと思います。この町に合うような子どもの教育環境や、保護者にとっての子育て環境を根本から見直す取り組みをしてほしいと思います。

また、本気で取り組んでいる自治体は全国に少しずつ増えているので東吾妻町もそんな町の一つとして名前が上がってくれたら素敵だなと思っています。公務でしか行えないことはたくさんあるので、外部コンサルタントに頼り切りにならず、自ら積極的に勉強し本気で町のビジョンを考えた上で、お金を使っていってほしいと思います。

●若者、子育て世代が住みやすい町にして下さい！ 高校生の電車の時間に合わせてバスが利用できるると本当に助かります。また、通学補助金もう少し増やしてほしいです。

●わが町で出産する病院がないので、若い人に移住していただくのに、ネックになると思います。入院できる小児科ありません。死活問題です。

地域の活動等に支援を

●地区で高齢者が多く除雪が大変です。ふるさと大橋は児童生徒の通学路で、今は有志がトラクターで除雪していますが、距離が長くて大変なので支援をお願いしたい。

●地域の自助が限界に達しています。高齢化が進み、小水道の管理や町道の草刈りなどが困難です。特にブロック積天端等の町民ではできない場所は行政の支援をお願いしたい。

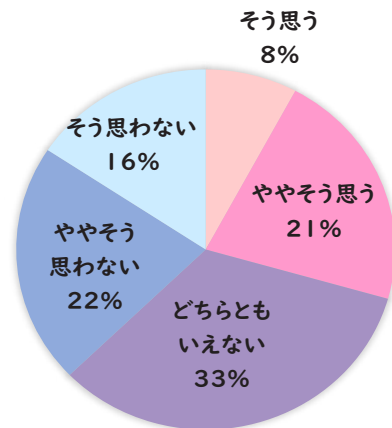
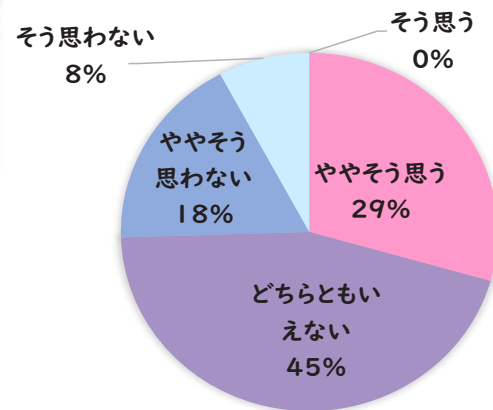
●高齢福祉施設にもっと援助をしてほしいです。



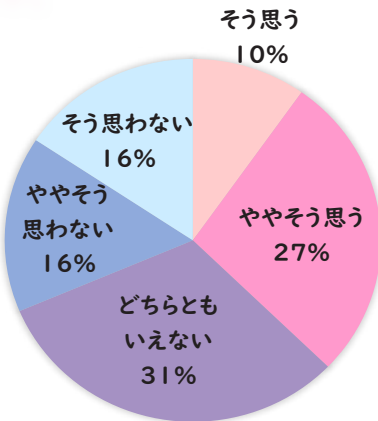
アンケート結果町の通知表の一部を紹介します。

その他の項目は東吾妻町議会のホームページに掲載しています。

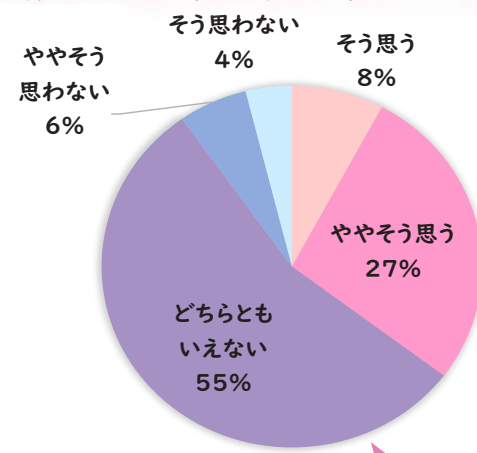
住民の意見がまちに通りやすいと思いますか。 医療・福祉のサービスが充実していると思いますか。



子育て支援など、安心して子どもを育てられるまちですか。



町議会は活動内容の周知に努めていると思いますか。



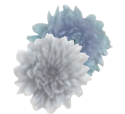
「どちらともいえない」が過半数の微妙な結果に。議会の広報活動にも課題が残る結果となりました。

若者も興味を持つ議会広報は

●議会からの発信はSNS（特に若い人はInstagram）を使用し、動画などがあると高校生でも興味を持つのではないのでしょうか。
→議会報告会に参加した高校生からのご意見です。議会報告会の動画配信など、議会だより以外の広報活動も検討していきます。

議会や町の回答は？ ～詳しくはHPへ

皆さんからいただいたご意見・ご質問・アンケートの詳細結果は、各公民館で閲覧できるほか、東吾妻町議会ホームページでご覧いただけます。



訂正とお詫び

第75号議会だより16ページの「故樹下啓示前議会運営委員長を偲ぶ追悼の言葉」の中で、吾妻森林組合の理事就任が「平成3年」とありますが、正しくは「令和3年」でした。訂正してお詫びします。

常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会



請願2号現地調査

道路の安全性の確保を

定例会中の委員会では、所管事務調査のほか、請願2号の現地調査を行いました。地元班長や地権者に立ち会いをしていただき、町道長寿園線の奥にある太陽光発電所の作業用車両や、「甘酒原高原遊花里自然園」への来場者で交通量が増加しているとの説明を受けました。一部幅員が約3.3mで車両のすれ違いが困難な状況を確認し、安全性を確保すべき見地から、全会一致で採択となりました。

今回の委員会
注目3事業!!



クビアカツヤカミリが初確認
特定外来害虫に指定されているクビアカツヤカミリが8月に岡崎で初確認されたと報告があった。被害の木の種類はサクラ類、ウメ、モモ、スモモ等で、今後注意が必要。

水質検査に問題は
フッ素化合物のPFOS、PFOAが水道水から基準値を越える事例が全国各地で発生。9月に水質検査を実施、町内5カ所の簡易水道の水源では基準値以下との報告があった。

鳥獣害対策は
10月以降国内で鳥インフルエンザが発生しているが、町内での確認はなし。CSFは4～5月に3件町内で捕獲されたイノシシから確認されたが、その後はないとの報告があった。

文教厚生常任委員会

医療・介護現場へ支援を

定例会中の委員会では、所管事務調査のほか、陳情6号の審査を行いました。医療・介護現場で働く労働者の現状を確認し、本会議でも全会一致で「ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書」を国会および関係行政庁へ送ることが決定されました。



大鍋で給食の調理

給食センター委託へ
給食センター調理部門の業務委託への予定が示され、令和7年度に事業者の募集・選定を行う。業者の選定方法は、公募型の企画立案方式による方向で考えているとのこと。

中学校部活動地域移行
指導者が確保できた部活動から随時、地域移行を開始。土曜日午前中3時間程度を基本とし、スクールバスも運行。平日や大会等は今まで通り顧問が指導・引率にあたるとのこと。

子ども子育て支援事業
「子育てを町全体で支える体制をつくる」ことを見据えた基本計画の第3期目。令和7年1月に子ども子育て会議の開催、同年1月～意見募集の実施、3月計画決定予定。

今回の委員会
注目3事業!!



特別委員会 其他の活動

ワーキンググループ活動報告 ～予算決算特別委員会

予算決算特別委員会では、9月定例会でメンバー替えになったワーキンググループのリーダーより活動報告がありました。
また、再度メンバー替えを行い新たなテーマで調査研究し、次回の定例会以降、提言ができる内容か検討していきます。

グループA 移住について

高橋弘 里見武男
重野能之 佐藤聡一

人口減少に伴い増加する空き家について、調査を行った結果は以下の通りです。
想定空き家戸数723戸（全世帯数の13.2%）。小規模な修繕により利用可能な戸数は663戸（91.7%）。現在移住コーディネーター1名、サポーター6名。昨年度のお試し移住の問い合わせ53件、利用者は延べ20名。現在お試し住宅は須賀尾の1軒のみ。
今回地区別に5軒を抽出し、現地調査を行いました。また、移住コーディネーターや担当から移住定住事業の状況を聞き、住みたくなる魅力あるお試し住宅の提供が必要と感じました。地域による環境条件に差がある当町では、移住の目的に対応できるお試し住宅を提供し、一人でも多くの移住者を受け入れる体制の構築が大切と考えます。

グループB 教育について

齋藤貴史 渡一美
小林光一 竹淵博行

まずは町の各種計画や報告資料をチェック。基幹計画から計画中的のもの、人口統計資料まで。共通するのは人口減少社会への対応が待ったなし、という点でした。学校教育の充実がなければ若い世代が町から離れていくことから、魅力ある学校教育が重要であること

が見えてきました。
中学生はこれからの10年で200人減ることが見込まれます。1年間に子どもが産まれないという地区も想定され、数年後には、町全体で1学年50人を切ります。
子ども・子育て会議によるニーズ調査では小学校に關しての保護者の記述で、全てが小学校統合を望んでいました。
グループ議員4名の共通の考えとして、子どものことを最優先に考え、保護者の意見もよく聞くことを前提に、早急に「統合前提で議論に入るべき」という結論になりました。

グループC 地域防災について

高橋徳樹 井上日出来
増子京子

自然災害専門家の気象防災アドバイザーを雇用して成果を上げている渋川市情報防災部危機管理室（15人体制）を訪問。担当から防災体制および取り組み説明を受け、気象防災アドバイザーからは105地区ごとの個別防災組織づくりでの苦労話も聞くことができ勉強になりました。所見は以下の通りです。
①最近の激甚化、頻発化する自然災害に備えるためには気象分野の高度な知識、経験を有する外部専門家の活用（助言、指導）が急務である。
②専門家知見を取り入れることで地区ごとに適応した防災計画づくり、多様化する住民ニーズ対応、意識改革、職員の負担軽減、スキルアップ等期待されるので、まずは単発ではない複数回での研修会開催が望まれる。

議会報告会・中学生議会終了 ～議会運営委員会

議会報告会は11月10日にコンベンションホールで開催し、11月21日には中学生議会を実施し、参加した皆さんから貴重な意見をいただきました。議員全員協議会において議員一人一人の感想を聞きましたが、いず

れも非常に前向きなものであり、準備や当日までの過程は大変でしたが、実施して良かったと感じています。来年度以降の開催方法については、今回の経験を踏まえ、開催場所や回数を含めて内容をさらに充実させるよう改善を進めていきます。
DXタブレットについては、導入時期を令和8年頃をめどに、今後検討を進めていく予定です。

広報クリニックで新たな発見 ～議会広報特別委員会

11月22日に開催された議会広報クリニックでは、榛東村・千代田町・高山村・東吾妻町の4町村が参加しました。
議会だより第74号について
・「がんばっている人応援し隊」は住民の自治活動の紹介で好企画だが、この取り組みを通じ、議会や行政への意見や要望を引き出す「問い」も欲しい。
・一般質問はコーナーの冒頭にタイトルやリード分が欲しい。Q&Aは15文字以内にし、長い文章には小見出しをつけ読みやすくしたい。
などのアドバイスをいただきました。
早速第76号議会だよりの編集の参考にさせていただきますが、いかがだったでしょうか。



上信自動車道関連工事の現地視察

12月9日上信自動車道建設事務所の協力により、上信自動車道関連の工事場所を現地視察しました。
最初に東バイパス2期の箱島ハーフインターチェンジの千沢橋下部工と五町田函渠工を視察し、次に新巻地区、泉沢地区、植栗・中之条インターチェンジ、川戸深沢地区、厚田跨道

橋の順に工事現場を視察しました。
いずれの現場も前回の視察と比べ工事が進んでいることが確認できました。
また、岩島小学校の生徒が書いた「厚田跨道橋」の名板4枚を見ることができました。



現在進行形の課題を協議
〈議員全員協議会〉
定例会中の議員全員協議会で協議された内容です。
(1)原町赤十字病院から財政支援の要望について
(2)不祥事再発防止策の骨子について
(3)令和7年度予算編成方針について
(4)DX推進本部の進捗状況について
(5)吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
(6)東吾妻町子ども・子育て支援事業計画(第3期)について
(7)学校給食センターの調理部門の業務委託について
(8)中学校部活動の地域移行について

「議会だより」の表紙の写真を募集します!
「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集しています。自然豊かな町の風景や子どもたちの笑顔など表紙を飾る写真を募集中!
次号は5月発行。春らしい写真を募集します。詳しくは東吾妻町議会ホームページをご覧ください。





「楽しいことは多い方がいい」

齊藤 聡 さん（岡崎）



もうすぐ赤いちゃんちゃんこを着る歳になる私、子どものころ家にはおじいさんもおばあさんも既に亡くなっていて、居ませんでした。

近所には縁側で日向ぼっこしながら縫い物をするおばあさんや、私と1つ下の妹に昔話をしてくれタンスからショウノウ臭いお菓子をくれるおばあさんがいました。

妹は母ちゃんに叱られると大きな声で泣きながら近所を一周するのが決まりで、それを見ておばあさんたちが慰めてくれると泣き止み、家に帰ってケロッとしていたのを思い出します。

子どもにとっておじいちゃんやおばあちゃんを頼りにしたり、逆に子どもに元気をもらって生きることがとっても大事、親子だけの関係より他人である経験豊富な人と関わることがいいんじゃないか、と思います。

提案です。こども園や保育園の園庭にコンテナハウス程度のものを置いて大人やお年寄りがお茶のみできる場所ってあったら楽しいんじゃないかな。

ないかな。昔話をしたり、お手玉したり、たまにはお菓子を一緒に食べたり。

なかなか逢えない遠くにいる孫たちに逢えた気持ちになる「おとな園」どうでしょうか？

東吾妻町にこんなところあったら若い人たちも集まって活気ある町づくりができる気がします。

忍者、ほたる、おとな園、楽しいことは多い方がいい。

元気で笑顔あふれる町にしましょうよ。



元気をもらえる子どもたちの笑顔

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は3月4日開会予定

3月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4 ← 本会議	5 本会議	6 常委	7 常委	8
9	10	11 特委	12 特委	13 全協特委	14 休会	15
16	17 本会議	18 本会議	19	20	21	22

*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

昨年、広報の原稿を書き始めた時、信じがたい事件のニュースが報じられました。北九州中学生殺傷事件。この事件で、15歳の女子生徒の命が奪われました。彼女にもきつとたくさんの「夢」があったと思います。本当に悔しく悲しい事件です。

「どの子どもみんな日本の大事な子」です。若くして命を絶たれた子たちの分まで、いま生かされている私たちがそれぞれ夢を持ち、精いっぱい人生を頑張りに抜いていくことが大切とあらためて痛感しています。

さて今回は「みんなの議会」第76号です。分かりやすく読みやすい、を心掛けて編集にあたりました。どうかご一読ください。（重野 能之）

議会広報特別委員会

委員長 里見 武男 副委員長 井上日出来
委員 齋藤 貴史 委員 増子 京子
委員 渡 一美 委員 高橋 徳樹
委員 重野 能之

